



今回は、本年度の取組⑤⑥についてお知らせします。

本年度の具体的取組

- ① 幼児が「やってみたい」と思い、人とつながりながら主体的に遊ぶような環境をつくり援助を行う。
- ② 幼児の生活や遊びがより充実するような義務教育学校との交流を行う。
- ③ 基本的生活習慣が身に付くように「きらきらカード」の活用や指導を行う。
- ④ 友達や異年齢児と関わり、互いの思いに気付くような「ピア・サポート」の実践を行う。
- ⑤ **昭和地区の自然に触れる園外保育と地域の人との交流を実施する。**
- ⑥ **親子で地域(居住地を含む)を知ることができるように地域の行事の参加を促したり園外保育の様子を伝えたりする。**

昭和五つ星学園では、地域貢献力を育てたいと思っています。幼稚園では、昭和地域や地域の人を知るために、園外保育に出掛けたり地域の人の協力を得て教育を行ったりしています。義務教育学校の学習内容を知り、同じ場所に出掛けたり、教育の様子を見たりすることもあります。地域のよさ(あそこでしたことが楽しかった、あそこに行けば〇〇があるなど)を知る、地域の人に頼るなどの経験をして、義務教育学校につないでいきたいと思っています。



下倉 林松寺へ春の遠足。いつも掃除をして子どもたちの到着を待ってくださいます。境内でかくれんぼや集団遊び、鐘もつかせてもらいます。



美袋駅へ散歩。駅に一番近い幼稚園の良さを生かし、秋には電車に乗って日羽へ、三学期には高梁図書館に出掛けます。



学校がウォークラリーをする日に園児は大月さんの田んぼへ出掛けます。園外で児童に会う経験も楽しいです。同じ田んぼで5年生が田植えをする様子をそら組は見学に行きます。



地域の原瀬さんに年間を通して水やりの意味、栄養不足の目安など野菜作りを教えてくださいました。子どもたちは聞いたことを覚えて世話をしています。夏と冬の会食には、そら組が招待したい人を考えて案内を出しています。地域の人々の温かさに触れて大きな～れ。



維新の清梁園訪問。子どもたちは、ステージ上で歌ったり踊ったりして「おじいちゃんがにこにこしてくれてうれしかった」「一緒にしてくれてうれしかった」と感じました。



美袋八幡神社で宝探し。「前もしたことがある」「おひさまからも来た」「お祭りの時に来た」覚えていることがうれしいです。

きりとせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより6 ()組 園児名()